MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

2025 11月号

No.-607

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2025秋期 コレクションルーム 特集「こどもへのまなざし」

と き/10月24日(金)~12月14日(日) 10:00AM~6:00PM ところ/京都市京セラ美術館 コレクションルーム 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334





浅井忠《漁村の少女》 1897 (明治30) 年



案本一洋《餞春》 1928(昭和3)年

子供とは、いったいどのような存在だろうか。かわいらしくて、純粋。自由で、少しあやうさも感じるもの。こうした子供に対する認識は、近代になって改めて発見されたものともいえる。明治期になると学校が創設され、児童教育が発達していく。その後、大正期に至って児童向け雑誌や童謡など、子供のための文化が確立され、文筆家や作曲家など多くの文化人が子供という存在に視線を向けるようになった。そうした風潮のなかで、近代の画家たちもまた、日本画、洋画の区別なく、その多くが子供を見つめ、作品に描いた。純粋さの象徴として、あるいは若々しい生

命力を示すものとして、また愛する家族の一員として…。子供を主題として 扱った作品は、京都市美術館のコレク

ションにも多数存在する。本特集では、子供をテーマにした絵画作品を展示し、近代における「こどもへのまなざし」を振り返るものである。世界中で起こっている戦争の惨禍に真っ先に巻き込まれる子供たちの悲惨な映像を目にし、この国での児童虐待の諸報道を目にすることの多い中、家族や子供たちに向けられた近代画家たちの視線を改めて見直してみたい。



三谷十糸子《朝》 1937(昭和12)年

と き/10月21日(火)~12月5日(金) 10:00AM~5:00PM ところ/中信美術館(月曜休館) **2**075-417-2323

京都市上京区下立壳通油小路東入西大路町136-3



菊池契月《観画》 1943(昭和18)年



「大神」2023年

展

西野陽一 森羅のほそ道一日本画

自然界の生きものを臨場感溢れるダイナミックな構図と卓越した技法で描き出す日本画家 西野陽一氏の展覧会を開催します。西野氏は、伝統的な技法と現代的な感性を融合させ、「竜宮」「アマゾン」「密林行」など幅広いテーマで作品を制作、全国の百貨店や画廊での個展で発表を続けておられます。世界各地へ取材



「いなば」個人蔵

「アカシア」 2017年



「マザー I 」 1997年

に赴き、自らの体感をもとに、繊細な筆致と色彩で 生き生きと描き出される自然の生きものたちは力強さとユーモアに溢れ、生命の輝きや尊 さが感じられる静謐で詩的な世界を生み出します。本展では、1990年代から近年の作品よ

り、アマゾンの密林やミクロネシアの海など展示室ごとに3つのテーマで展示し、生命の美しさに満ちた 神秘的な世界にご案内します。

2008

西野陽一略歴

1954 京都市に生まれる

1978 京都市立芸術大学日本画科卒業

1982 東京セントラル美術館日本画大賞展

2002 第20回京都府文化賞奨励賞受賞 2006 第19回京都美術文化賞受賞

第26回京都府文化賞功労賞受賞

2022 京都市文化功労者表彰 個展 多数

8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ¹²/₂ 3 4 5 6 曜 土 | 田 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 田 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 田 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 田 | 月 会 場 | ① | ① | 火 | 水 | 木 | 金 京都府×京都市 新指定文化財 未来へのおくりもの 2F 3F 特別展 世界遺産 縄文 4F 選抜 京都 京都府 仏第 秋季展 心第 創工第 京都文化博物館 教62 第44回 象 58 三 展 工芸36 会美回 美回 聚英展 中京区高倉涌三条上ル 術展 展術 222-0888 絵更紗 展 第14回 第三回 花都の會 6F ワコール倶楽部 部首宏 文化祭 KPA 第27回佐々木 Young 音楽 音楽 メイキング・ワーク 朗読劇 真弓ステント 天竺展 別館 Architecs ショップ 2026 Conference 令和7年度秋季特別展(11/3休館) 京都学・歴彩館 休館 大阪・関西万博記念 お茶博 左京区下鴨半木町1-29 723-4831 -TEA from KYOTO-

		п	1 0 0	1 4 1	5 C 7 O O	10	11 10 10 14 15 16	7 1	0 10 00 01 00 00 0	140	F 0.0 0.7 0.0 0.0 0.0 12 /	ı		
	会場		$\begin{vmatrix} 1 & 2 & 3 \\ \pm & \oplus & 0 \end{vmatrix}$	4 火	5 6 7 8 9 水 木 金 土 田	月月	11 12 13 14 15 16 . 火 水 木 金 土 圓 .	17 L 月 <i>リ</i>	8 19 20 21 22 23 2	24 Z 月 リ	5 26 27 28 29 30 ½/1 人 水 木 金 土 🗍 月			
	京都国立近代美術館	3F	没後50年 堂本印象 自在なる創造											
	左京区岡崎公園内 761-4111	4F	印象派とその前後 - 近代フランスの風景画 荒木悠Reorienting - 100年前に海を渡った作家たちと - 2025年度 第 3 回コレクション展							堂本家の人々と東丘社 るコレクターの写真との対話	→12/7			
	京都国立博:		特別原	長 宋	元仏画 – 蒼海(うみ	、) を	越えたほとけたち							
	*UCX/BC*C J	141 1131			7	レク	ションルーム 秋期 特集	5] :	どもへのまなざし」			→12/14		
							民藝誕生100年 - 京都か	紡い	だ日常の美			→12/7		
			2025				第128回		第60回		樂書會書展 第43回 京都展			
	京都市		第44回		第88回 新制作展		公募墨人京都展		現創会 書展 〈特別陳列〉		絵画教室アトリエ レゴット展示会			
	京セラ美術館		汎具象		1911P311 DC		第52回 創画展		現創会60年の 歩み		第109回 二科展巡回京都展			
	左京区岡崎公園内 771-4334	東 山 キューブ	/K		Н	ello	 Kitty展 – わたしが変ね	っると	ニキティも変わる –			→12/7		
		別館 1F	写真がつなぐ 仲間展			第32回			第55回	SKY				
		וו מענגל	第39回京都	- 第	589回自由美術展		アトリエ葵 作品展 第79回		前翠展 京都教育大学		ふれあい 作品展			
		別館 2F	芸術祭美術部門 国際交流総合展				新匠工芸会展	書道研究室 作品展			2025			
	 京都府立	1F	第一美術		ファム展(洋画)		ハクの会展 (美工総合)	光風会 京都作家展			行動美術京都展 (洋画)			
	文化芸術会館	2F	関西展 (美工総合)			第12回Étude展 (人物画勉強会有志展)			(洋画)		·			
	河原町府立病院前 222-1046	3F					祐の会展 (日本画)		昭和美術会 京都支部小品展					
	京都府立堂本印象	美術館					〈没後50年記					→ 12/21		
	北区平野上柳町26 4 何必館・京都現代				企图		The Great DOMOTO About time Sarah Moon							
	東山区祇園町北側 5						(祝日以外の月曜と生				_	→5/1		
		_ ~	人間国宝	.	安永元典 展		今井完眞 陶展 - リアルファンタジー 其ノヨ	-3	薩摩焼		岩永てるみ 展 - 旅のはじまり -			
	高島屋	画 廊	鈴木 藏 展		還暦記念 三代 保庭楽入 茶陶展		漆 三木表延斎 - 米寿展 -	十五代 沈 壽官		Ę	植葉香澄 展 -きりにあらわるかすみかな-			
(£)	下京区河原町四条下ル 221-8811	美術工芸	北浦雄大 漆造形展		林 李子 展 - みやこ雪月花 -		丹波 市野秀作 陶展		- 赤と青 - 種田真紀 陶展		モーガン・ルイス 作陶展			
		グランド	~ヨビツギもの語り	~	一みやこヨ万化・		門校		1里田長札 阿欣		1下門 戊			
		ホール			豆を火 小 日		+		47 J. 12 12 J. E.		T			
		画 廊	襲名記念 四代 小川县	長樂 展	顧洛水展 - 花の音 -		~古希・my dear l 荒木淳一 油絵		ひとめぼれ展 ~新たな発見の世	界~	〜J'ARTグルービーを探そう〜 J'アートセレクションん展	→12/2		
	大 丸 中京区四条高倉	アートサロン	ミチヨスク: 絵画展 〜遊幻探:		岩澤有徑展 - この地上の美し				田村洋子×若菜由 柔らかな日常	三香	干支と聖夜の おくりもの	→12/2		
	050-1790-3000	6 F イベント	MACHINE TO THE TOTAL THE T											
	中信美術	ホール	西野陽一 森羅のほそ道 - 日本画											
Œ	エバニ エルル コムバン	17-2323		(月曜休館)										
	並河靖之七宝記 三条通北裏白川筋東 7				秋季特	別展	長「並河七宝 - 永遠なる	る黒の	0輝き-」(月・木休館)				
	泉屋博古			۲۶	不倒の油絵道」生誕	生誕151年からの鹿子木孟郎 (祝日以外の月曜と10/14、11/4、11/25休館)								
•	左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 7		中国青銅器の時代 殷周青銅器解体新書											
	美術館「えき」KY 京都駅ビル京都伊勢丹7F隣接 3		生誕100	生誕100年 昭和を生きた画家 牧野邦夫 − その魂の召喚 − レオ・レオーニと仲間たち →12/2										
	会場	一曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
愛 企	アートギャラリー	$\overline{}$	農野県 屋野高志郎・良子2人展 深田充夫 個展 Aqua											
	左京区岡崎神宮道東側 7 イラストギャラリー・		(月唯怀與)								5)			
登金	東山区東山五条上ル西入ル 5		6 以及											
	アートスペース柚 東山区二条通東山西入 090-6	,	総本借入! 一日一生展 天才科学者 の実験室展 「In the Quiet Light- 小林真緒美(月曜休廊) 「中国 (月曜 (月曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日曜 (日											
P	アートスポット 東山区八坂通大和大路東入南人 090-3		常設展(見学にお越しの際は立松まで(090-3945-7492)ご予約お願いします。)								す。)			
	Art Space 癒,			原古邨展 毎週火・金曜日 時間【10:00~16:00】午	≐前・台	F後 各一組 4 名まで			日本の工芸展 毎週火・金曜日	→12/26				
<u>^</u>	長岡京市今里畔町24-8 9 ARTES ERYS		予約の受付時間 【 佐藤 佑 日本画展				0∼15 : 30]	佐藤八弘 日本画	(完全予約制)					
	中京区姉小路通寺町西入 6 綾小路ギャラリ		まさこの		曜休廊) 		13 ÷ 16 □ □		(水曜休廊)		666 HH A 🖂			
登金	下京区綾小路高倉東入ル 3		漆 作品展	Į.	山田竜己 作品展		橘高 作品展		絵筆れっすん展		樂描会展			

日下部直起展 ~静かな刻の中で~

と き/10月28日(火)~11月2日(日) 12:00~7:00PM ところ/ギャラリーヒルゲート

京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

ギャラリーヒルゲートでの個展は2年おきに開催して、今回で13回目 となります。アンティークなモチーフの静物画が中心ですが、それと合 わせて自分が住んでいる京都の大原野の風景とイタリアの風景とのどこ か共通点を感じた風景画など、60号~小品までの油彩27点、および水彩 画10点の合計37点を出品予定しております。京都でも西の山あいである 大原野の地に暮らし、ここの静かな空気の中で、遥かなイタリアに思い をはせ、毎日犬と散歩する風景を今回初めて描いてみました。大原野で 育てたアーティチョークとイタリアの骨董市で手に入れたモノたちとが 呼応する会場になればと思っています。 日下部 直起



「朝のパントマイム」 53×136cm 油彩

日下部 直起 Naoki Kusakabe

1959 京都に生まれる

1982 金沢美術工芸大学油絵科卒

二紀展初入選以後毎年('93 奨励賞、'96 優賞、'97 二紀賞、'99 同人優賞、'01 宮本賞、 '02 損保ジャパン美術財団奨励賞、'05 会員賞、'11 会員優賞、'15 委員推挙)

1995 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞

2000 伊豆美術祭展 (IZUBI) 佳作賞 ('01 佳作賞、'02 佳作賞)

2000 2001 文化庁現代美術選抜展、前田寛治大賞展

2004 文化庁芸術家在外研修(フィレンツェ)損保ジャパン美術財団選抜奨励展

2006~2010 LIONCEAUX 展 (日本橋三越本店))

2013、2015 La luce nel tempo 3人展(フィレンツェ、Luzart Gallery)

2018 La luce nel tempoIII 3人展(フィレンツェ、Accademia delle Arti del Disegno)

2020 個展 (阪神百貨店梅田本店) Proposte dal Giappone 展(ミラノ、Galleria Schubert)

個展(日本僑三越本店)('12、'18、) 2022 個展 (名古屋栄三越)

2023 個展 (福岡三越)

現在 二紀会委員 ヒルゲートでは13回目の個展

https://www.kusakabenaoki.com/

「天使の戯れ」 30F 油彩

日本デビュー 30周年記念 ディーン・ボーエン展 一オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち

と き/11月9日(日)~12月14日(日) 1:00PM~6:00PM ところ/ギャルリー宮脇 (月曜休、祝日の場合は翌日) 京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

2023年夏から群馬と徳島の県立近代美術館を巡回 し、今秋は八王子市夢美術館で開催された同名タイト ルの展覧会が、作者の日本デビュー30周年を記念し てギャルリー宮脇で開催される。90年代に版画の実 力作家として活動を始めたディーン・ボーエン(1957 年オーストラリア生まれ) は、大阪国際版画トリエン ナーレ1994及び1997で特別賞を連続受賞。94年の受賞 作の「父と息子」は全体の赤黒さが印象的で、日焼け した人物像の背景に太古の岩絵のような自動車が積み 重なり、果てしなく広がる地平線をハリモグラが歩く



われらの地平線展 (日本橋三越本店) ('13、'14、'16、'17、'18)

「父と息子」銅版画 67×89cm 1993年

という、オーストラリア独特のインスピレーションに溢れた作品であった。 その翌春にギャルリー宮脇で日本初個展を開くと、この

魅了した。

30年が経ち、ボーエンは今では巨大な絵画や彫刻も手が け、母国を代表する人気作家になった。本展では大型油絵 やブロンズ彫刻を含む美術館巡回展出品作を多数展示し、 最新作水彩画も発表する。

南半球の新人アーティストの風変わりな作品は多くの人を



「愛の家」ブロンズ彫刻 21.5×17.5×9.5cm 2019年

★11/9(日)午後3時~来日歓迎レセプション開催。作家・ 寮美千子によるボーエンの絵本の朗読パフォーマンス (本邦未完の作品を日本語で)とボーエンのサイン会を行います。(要予約)



「ラヴバードとテントウムシの家族」 水彩画 24×38cm 2025年



「ハリモグラの通り道」 油彩画 122×183cm 2021年

第332回 書画まつり ところ ギャラリー 最新堂 (会別中無称)

と き/11月15日(土)~11月24日(月・祝) 10:00AM~6:00PM ところ ギャラリー鉄斎堂(会期中無休)

京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164



この度、第32回書画まつりを開催させて 頂きます。江戸時代から昭和末迄の日本画 を中心に1万円から500点余りを展示即売 させていただきます。



鈴木松年「鬼念仏」

屏風も多数展示しております。沢山の中からお気に入りの作品と出会っていただけるものと思います。また弊社ホームページでも全作品をご覧いただけます。



秋野不矩「赤かぶら」



伊藤小坡 「紅葉狩」



岸連山「龍虎双幅」

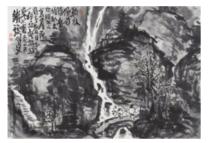
主な出品作家

古画より - 浦上玉堂、山本梅逸、森狙仙、岸岱、岸良、 岸連山、鈴木松年 他

新画より-竹内栖鳳、富岡鉄斎、橋本関雪、都路華香、

福田平八郎、土田麦僊、小野竹喬、堂本印象、池田遙邨、山口華楊、伊藤小坡、秋野不矩、 伊東深水、中川一政、三岸節子、棟方志功 他

道具より-楠部弥弌、永楽即全、三浦竹泉、徳田八十吉、今泉今右衛門、藤田喬平 他



富岡鉄斎「水墨山水」



中川一政「向日葵」油彩



真葛香山「漁舟香炉」

深田充夫展 Aqua

現代彫刻家が信楽焼で表現した「水」のかたち

と き/11月18日(火)~11月30日(日) 11:00AM~ 6:00PM ところ/アートギャラリー博宝堂 (月曜休廊)

京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-771-9401

私は数年に渡り、アクアをテーマに様々な「水」を陶彫で抽象的に表現してきました。今回のアクアは水の波紋や渦などの自然の力による動きや曲面の美しさ、水面に映る色彩を湖国滋賀の伝統的な焼物である信楽焼を使い、より身近な空間で「水」の存在を感じられるよう花器という造形で表現しました。

是非、私の感じる水の形を体感頂けたら幸いです。 深田充夫

※陶彫作品約20点とペン画も数点出品予定

深田充夫 略歴



淵然

1956 滋賀県に生まれる

1978 京都精華短期大学立体造形専攻科 卒業

1983 第3回ヘンリー・ムーア大賞展 美ヶ原高原美術館賞受賞

1993 第1回フジサンケイ・ビエンナーレ 現代国際彫刻展 特別優秀賞受賞

2000 丸の内仲通り彫刻展(三菱地所、箱根彫刻の森美術館選定)/東京都 2003 京都造形芸術大学美術工芸学科 非常勤講師 (~09)、紺綬褒章受章

2004 第8回KAJIMA彫刻コンクール 金賞受賞

2016 滋賀県文化賞受賞

2021 秀明文化賞受賞/MIHO MUSEUM

その他、国内外で個展多数開催





静淵

サラ・ムーン

About time Sarah Moon 展 と き/10月23日(木)~2026年5月10日(日) 10:00AM~6:00PM ところ/何必館京都現代美術館(祝日以外の月曜休館) ※冬季休館12/29~1/6 京都市東山区祇園町北側 ☎075-525-1311

このたび「About time Sarah Moon 展」を開催いたします。

何必館・京都現代美術館は、これまで約25年に亘りサラ・ムーンの活動を見守り、交流を深めて参りました。今回、何



The Screech Owl 2003

必館において約10年ぶりとなる4度目の展覧会は、これまでの信頼関係によって実現したもので す。「私を突き動かすのは、いつも予期しないこと」というサラ・ムーンは、その直感力と綿密な 方法論によって独自の世界を表現します。不確かな既視感を留める情景には、写真家の視線にあ る「儚さ」の感情が息づいています。今回は、何必館と共同企画・編集した、5冊の写真と童話 による物語「CIRCUS」「梟」「赤い糸」「人魚姫」「黒ずきん」を写真作品と映像作品を交えて紹 介します。また、当館館長の梶川芳友との私的な対話から生まれた、書と写真による歳時記「儚 -HAKANAI も合わせて展覧いたします。

現在、世界において益々評価が高まるサラ・ムーン。この機会に是非ご高覧ください。

記念出版

「Sarah Moon 写真集 7.000円 「Sarah Moon 梟」 18,000円 「Sarah Moon 赤い糸 18.000円 Sarah Moon 12345 30.000円

サラ・ムーン略年譜

1941年 フランスに生まれる

1970年 写真を撮り始める

1983年 個展、国際写真センター、ニューヨーク 1995年 回顧展、国立写真センター、パリ

2002年 「過ぎゆく時」何必館・京都現代美術館 「CIRCUS」何必館·京都現代美術館 2004年

2008年 ナダール賞受賞、フランス

2016年 「Sarah Moon 12345」何必館·京都現代美術館

2025年 エコール・デ・ボザール 大賞受賞

「About time Sarah Moon」何必館・京都現代美術館



The Red Thread, 2004



[About time] 2001

ーサムホール展ー 岸 満男 個展

と き/11月25日(火)~11月30日(日) 11:00AM~6:00PM ところ/ギャラリー唯

京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-752-0348

油絵具を揃えて、画廊歩き、美術館通いと、絵を描く意欲を増幅させて50年余 り、表現の動機として油絵を愉しんで参りました。

都会育ちの小生は、時として海の見える風景に憧憬を抱き、モチーフを灯台と 決めて写生旅行を開始しました。日本列島全国134基の灯台スケッチを現場で描 くことに撤してきました。激しい破風に曝されて、屹立している孤独な建物の灯 台。先人たちが選び選んだポジションをこの位置ならではと得心し、心ゆくまで 周りの海を眺めている。やがて光や風など自然から受けるイメージに惹きつけら れる構図を見つけ、感動して自由に描写してきました。

カンヴァスに着色グランドを演出し、フィンガー&ペインティングナイフなど でインパストし、グレイジングした色彩と技法を探求していく。自己表現を海の 広がりや空の写りからポジションを探る。描くことそのものが楽しく、描き眺め



「伊良湖岬灯台」愛知県伊良湖岬

ていると、時として過去のロマンを秘めた郷愁が呼び覚まされる。灯台は人生の道標のようであり、未来に進む勇気を与 えてくれ、夢と期待を投影する存在としてキャンバスに蘇る。

ここに自分自身(1932年生)の大きな区切りとして、元気で油絵を愉しんで来られた事を悦び、感謝いたしまして「石 造・デザイン灯台」「重文・恋する灯台」など、新しく描いたサムホール28点の作品による個展を開催いたします。創作 の意欲の源泉を是非ご高覧ください。



「石崎灯台| 北海道利尻島



「出雲崎日御崎灯台」 島根県出雲市 (需要文化財)



「栄浜崎灯台| 北海道利尻島



「鍋鳥灯台」香川県 坂出市与島 (重要文化財)

〈没後50年記念〉企画 The Great DOMOTO 一堂本印象の家族たち―

と き/10月9日(火)~12月21日(日) 9:30AM~5:00PM ところ/京都府立堂本印象美術館(祝日以外の月曜と、休館) 京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

御所の近所で江戸時代から続く造り酒屋の三男として生まれた堂本印象(1891~1975)には、8人の兄弟妹がいた。長

兄の寒星は古典芸能評論家、次兄の漆軒は漆芸家、さらに印象の義弟には、森守明、三輪晁勢ら日本画家、そして甥には洋画家の堂本尚郎などがおり、まさに類まれなる芸術一家。本展は、印象没後50年を記念し、芸術に携わる一族の作品を紹介している。印象が描いた家族の肖像や、家族をモデルとして制作された作品を通して、画面の深層に身近な人々への温かな愛情が込められていることが感じ取れる。華やかに見える堂本一族だが、印象10代の頃に家が没落したため、印象は学校を出ると一家の大黒柱となって家族を養った。それ故、弟妹たちは生涯にわたり、芸術の道に専念する印象を支えたのである。

今回は特別に、亡き母の菩提を弔うため、印象が72歳の時に自ら彫った阿弥陀如来坐像が初公開されている。また、妹と姪をモデルに描いた《婦女と卓子》は、東京・歌舞伎座より久々の里帰りとなった。甥にあたる堂本尚郎が洋画家に転向する前に描いた日本画も初公開となる。



堂本印象「ある家族」1949(昭和24)年 堂本印象美術館蔵



堂本印象「故父」 1924(大正13)年 堂本印象美術館蔵



堂本印象《婦女と卓子》 1950(昭和25)年 株式会社歌舞伎座蔵



堂本尚郎「《蚤の市》 1954(昭和29)年 堂本印象美術館蔵

没後50年堂本印象、自在なる創造

《交響》 1961(昭和36)年 第4回新日展 (堂本印象美術館蔵)

堂本印象 (1891~1975) は、1918 (大正7) 年に京都市立絵画専門学校 (現京都市立芸術大学)に入学し、1920 (大正9) 年には西山翠嶂が設立した画塾「青甲社」に入門して日本画家として研鑽を積んだ。1919 (大正8) 年の第1回帝展に初入選。第3回帝展では《調鞠図》が特選、第6回





《木華開耶媛》 1929(昭和4)年 第10回帝展 (堂本印象美術館蔵)



《訶梨帝母》 1922(大正11)年 第4回帝展 (京都国立公園近代美術館蔵)

帝展では《華厳》で帝国美術院賞を受賞するなど官展を中心に活躍し、一躍画壇の花形となった。その後母校の教授として、また私塾東丘社の主宰者として多くの更新を育てた。 細密な具象画を持ち味としていた印象は、60歳を過ぎて渡欧した後は抽象的な作風へと移行し、躍動感のある筆のストロークで表現した抽

象画を完成させた。1950 (昭和25) 年に日本芸術院会員、さらに1961 (昭和36) 年には文化勲章を受章。1966 (昭和41) 年には自らデザインした堂本美術館を衣笠の地に開館、1975 (昭和50) 年に83歳で没した。

堂本印象の没後50年を記念して開催される本展は、官展出品作などの代表作を中心に画業を振り返る大回顧展であり、京都画壇のみならず全国的に名を馳せた印象の全貌に迫る。



《風神》1961 (昭和36) 年 (堂本印象美術館蔵)

	会場曜	1 2 3 土 田 用 :	4 5 火 水	6 7 全	8 9 + 1	10 日	11 12 xk	13 14 全	15 16	17 日	18 19 20	21 22 23 全 土 ①	24 ①	25 26	27 28 太 全	29 30	¹² /1 日	
(P)	芸 艸 堂 画 廊		火 水 木 金 土 国 月 火 水 木 金 土 国 月 火 水 木 金 土 国 月 貸画廊受付中															
(£)	中京区寺町二条下ル 231-3613 絵 草 子		小杉門展															
	東山区新門前通東山西 551-9137 延寿堂ギャラリーソフォラ	- 大阪主	浮世絵・木版画・新版画常設															
企賃	中京区二条寺町東入ル 211-5552		水野幸一×みずのみさ 展 (陶磁×硝子) (木曜休廊・水曜不定休廊) 西山 雪 展 (ガラス)											→12/2				
(£)	御 池 画 廊 北区小山北上総町20-2 492-3083		洋画・日本画常設展(土・日・祝休廊) (開廊時間/AM11:00~PM 4:00)															
	画 廊 た づ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展(土日祝休廊)															
	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	南・何292: 清本紀子 (793: 7997-70-70-70- 本の 本の は500-6-270: 本の所で、 4-25-62: サイたえ				チリー 手作りシルバ アクセサリー たま 安部和					手	剂	・ク 急漫: 内恵	恵美				
企賃	喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793	喜聞堂 屏風絵· 古美術 常設展	照當 風絵· 這美術 本家鍋島緞通展			Dara Collection 京都人のための ペルシア絨毯展					遠藤一成	TU	ソキー/ CCHINC chino_jos)×				
P 	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979						:	2025年2	万博と非 松本初		を描く展							
	ギャラリー花友じゅらくだい 上京区智恵光院中立売上ル 451-6005						ロシ		ライナ 貴画廊受		身画家作品展 中)	i č						
(f)	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通縄手東入 551-3828	前田 はるな 作品展	原新汽	第27回 台郎 水彩	杉画展		奥村悠	子水	彩画展		風と森の	の作品展			第41回 精秀展			
F	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	平岡康次 写真展	中村	漆芸 久司 回	顧展													
F	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	柏 貴夫 展 (洋画)		展(月曜休廊) 羊画)				常設展			櫂 -Kai- 展 (日本画)							
P C	在京区凡太町東大路東人 771-1011 2F	川端 千絵展	四間丁	「愛展	展(平面)		休廊 —		岡百江	展((平面) (月睛	翟休廊)		夛山祐子 展(平面)				
₩ 		杉本 奈奈重 展	奥田零	泰江 展((平面)		TI-04b	ベリ	ーマキ:	コ展	(平面) (月]曜休廊)		髙田咲	悪 展(平面)		
P C	ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	ワイヤー アート テソロ	1	ートルダ 彗道教室』	展		うちわとペーパク リンゲ 姉妹展			すきずきあつめ展 (漆工)								
	会場曜		4 5 火 水		8 生 田			13 14 木 金	15 16 土 田	17 月	18 19 20 火 水 木	21 22 23 金 土	24 勇	25 26 火 水	27 28 木 金	29 30 土 田		
	ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767							貸ギ	ヤラリ	ー受	付中							
(£)	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																	
	ギャラリー白川 東山安井東-筋目南 532-2616	ケージから池田亮司まで - 現代アートの軌跡(月・火休廊) 大平和正「風還元/茶碗は (月・火休廊) (月・火休廊)							影刻IX」		→12/1							
P C	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	汲田裕子 展「立涌」 (絵画)(月曜休廊)				•	越田博文 展「いつかみたどこ (絵画) (月曜休廊)								栄 個展			→12/6
	ギャラリー Space 妙 ^{左京区松ヶ崎堀町1-1} 090-6605-0656	久田多恵展										□覚(しかく) 反応実験展 「ブルブル」						
(£)	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																
	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展								第32回書画まつり				常設展				
P A	ギャラリー富小路	volga volga @京都2025秋展					フィリップ・ブラム「 墨、写真、木炭											
<u>^</u>	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576 ギャラリーなかむら																	
_	中京区姉小路河原町東 231-6632 ギャラリー白梅園																	
	THE THE CO. 101 0400	白崎信子ガラス作品常設展																

【他所で見たい展覧会】

「セーヴル フランス宮廷の磁器」展:10月25日(土)~2026年2月1日(日) 細見美術館(京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 25075-752-5555)

「秋季特別展・繕の茶道具」展:9月3日(水)~12月7日(日) 茶道資料館(京都市上京区堀川寺の内上ル ☎075-431-6474)

「お散歩。展」: 9月20日(火)~11月16日(日) 滋賀県立美術館(大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)

「小出楢重一新しき油絵」展:9月13日(土)~11月24日(月振替休) 大阪中之島美術館(大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)

「リビング・モダニテイ 住まいの実験1920s-1970s」展: 9月20日(土)~2026年1月4日(日) 兵庫県立美術館(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-0905)

「特別展・プラカードのために」展:11月1日(土)~2026年2月15日(日) 国立国際美術館(大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)

「ポップアート 時代を変えた4人」展:11月3日(祝)~12月28日(日) 三重県立美術館(三重県津市大谷町11 ☎059-227-2100)

「特別展・根来 NEGORO、赤と黒のうるし」展:9月20日(土)~11月9日(日) 大阪市立美術館(大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-4301-7285)

「山崎隆夫 その行路―ある画家/広告制作者の独白」展:9月20日(土)~11月16日(日) 芦屋市立美術博物館(芦屋市伊勢町12-25 ☎0797-38-5432)

「西宮市100周年、めでたい松」展:10月25日(土)~11月30日(日) 西宮市大谷記念美術館(西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-0164)

[美術館で大航海、コレクションをたどって世界一周] 展:9月20日(土)~12月7日(日) アサヒグループ大山崎山荘美術館(京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)

「特別展・仏教と夢」展: 9月20日(土)~11月24日(日) 龍谷大学龍谷ミュージアム(京都市下京区堀川正面下ル ☎075-351-2500)

「秋季特別展・近江、名所」展: 9月20日(土)~12月14日(日) MIHO MUSEUM(滋賀県甲賀市信楽町桃谷 ☎0748-82-3411)

	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 土 田 用 火 水 木 金	8 9 10 11 12	13 14 15 16 1	7 18 19 20 21 22 23 24 月 火 水 木 金 土 圓 頂	1 25 26 27 28 29 30 2/1								
	1F	日下部 第12回 新年	計作 上	:岡真志 展 f制作会員)	25人の絵画展	西久松吉雄 展 (創画会)								
P (1)	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	□起展 -静かな刻 の中で- 協会関西絵 会員展	画部 貝原	原浩没後20年 けら(鉛筆・墨)	──(瓜生山学園京都芸大 ── 通信課程)	たくまたき子展(油彩・水彩)								
	奥庭 空間	鐵羅 佑 個展 五千度の庭(鉄造形)(月曜休廊)												
	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)												
	. 3F			下友加里 展 写真・絵画)										
(1) (2)	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	岡田友梨・ 中上七海 (平面・立体)												
	5F)ラズリー展 鏡の奥に」	U.S.E. (立体) 大村美玲 日本画展	京都精華大学 日本画7人展「連」	 							
(P) (12)	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710		龍画家 塩谷榮一 展 東山龍あり											
£	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	祇園 古谷緋龍作 古谷緋龍作 陶器展		髙木唯可 水彩画展	芥川 宏 陶磁展 2025	サムホール展 岸 満男 個展								
£	ギャラリー龍馬 ^{河原町三条下ル東入 211-7700}		「坂本龍馬と酢屋」常設展											
	ギャルリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休 藤井 蓮 作品展	休廊		常設展 (水・日曜休廊)									
	ギャルリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	ディーン・ボーエン日本デビュー 30周年記念展 (月曜休) - オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち -												
(£)	ギャルリー百音 (もね)				o up「クリスマスの訪れ」 器・		→12/25							
0 0	左京区岡崎神宮道東側 708-2138 京 都 ギ ャ ラ リ ー	(お正月	月のしつらえ〉(月曜		お正月に向けての漆器・器	など販売 	12/29							
P	中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435 京都芸大ギャラリーアクア	SPECIAL EXHIBITIONS I	貸画廊受付中 SPECIAL EXHIBITIONS KYOTO EXPERIMENT 2025 展示											
	下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010	ターニヤ・アル=フーリー & ズィヤ	アード・アブー・リーシュ「 月4日(火)、11月10日(月)	電力と権力を探して」										
	京都市立芸術大学資料館下京区下之町57-1 市立芸術大学(機制 585-2010	京	京都銀行 京都市立 -美術研究支援	芸術大学コレクシ 制度25周年記念展	ョン									
	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000		Co-program B「包摂とL」											
	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	特別	- 墨が彩る書 展示:国宝如拙(瓢		文化財 – (木曜休館) 蔵院)・江戸時代模本高精細	複製品	→12/21							
	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 土 田 用 火 水 木 金	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 12 22 23 24 25 26 27 28 29 30 12 28 29 30 20 20 20 20 20 20 20											
	京都写真美術館	港立安排 写直屈												
	東山区神宮道三条上ル 746-2931 2F 「花」	日本リアリズム 写真集団 第56回IRP 京都支部展 Photo Circle SKI 「SKIP 10		正和 写真展 日本迷幻街」	勝木繁夫 写真展 「龍をさがす Seeking Dragon」	植田正治 写真展								
	京都陶磁器会館	第14回 わん碗 (6日開創			第68回 京陶人形展 (木曜休館)	第66回 京都 色絵陶芸展	12/10							
	東山区東大路五条上ル 541-1102 2F													
P C	京都万華鏡ミュージアムアートスペース	すぎやま★ たくみ 個展	子ども	第13回 万華鏡大賞公募展										
	中京区姉小路東洞院東入 254-7902 堺 町 画 廊	最新の情報は	t、当館HPにてご確 ない冬		月曜休館 祝日の場合は開館		<u> </u>							
P C	中京区堺町御池下ル 213-3636	日本画展原画展		供満 作陶展	與倉 玲 作品展	伊藤五美 作陶展	_							
	大雅堂 東大路通祗園上ル 541-7388	常設展 常設展 一其之百												
	玉 山 名 史 刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般												
	梅 軒 画 原 中京区鳥丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展	m	merino 個展(水曜休廊) テンペラ画 日本画・洋画 常設展										
@	ビニールテープ(旧後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938			画廊企画 常	s設展									
	星 野 画 廊													

[京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊(☎771−3670)まで振込用紙をご請求ください。 【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ(http://www.kyoto-art.net/)では、 すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行:京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 ($oldsymbol{\varpi}$ 222-0895) http://www.kyoto-art.net/